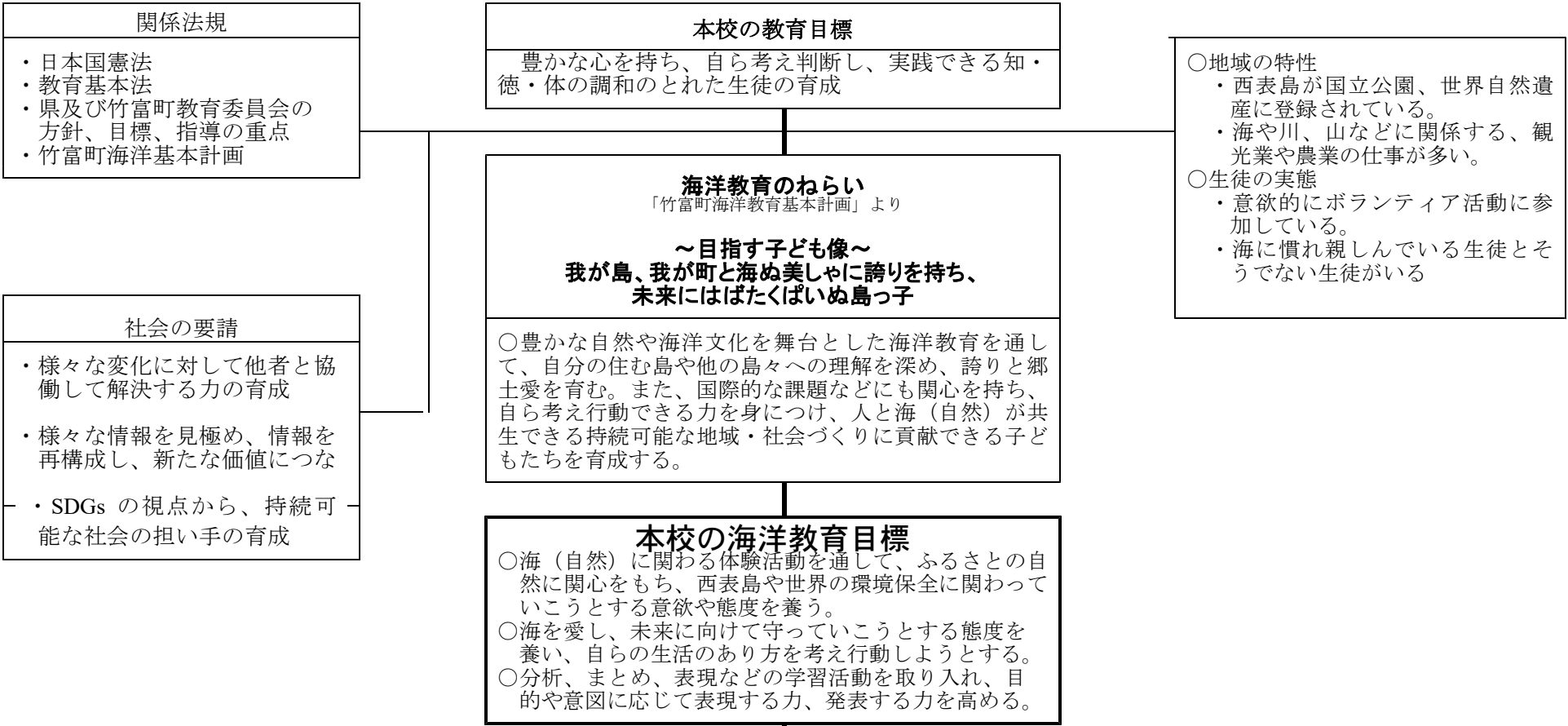


大原中学校 海洋教育全体計画



各学年の育成を目指す資質・能力			各学年の学習内容		
1 年生	2 年生	3 年生	1 年	2 年	3 年
【知識及び技能】 ・課題解決に向けて学んだことを活用しようすることができる。 【思考力、判断力、表現力】 ・実社会や生活、仕事から自分で課題を見つけることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の意志で目標をもって課題解決に向けて取り組もうとしている。	【知識及び技能】 ・探究活動を通して身につけた経験や知識を整理し、実生活との関連性を考えながら活用しようすることができる。 【思考力、判断力、表現力】 ・実社会や実生活から自分で課題を見つけて計画を立て、情報を集め、選択・処理している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の意志で目標を持ち、自他の良さを生かしながら協力して課題解決に向けて取り組もうとしている。	【知識及び技能】 ・探究活動を通して身につけた経験や知識を多面的に捉え、考えを具現化し、実生活においての課題を解決するために活用しようすることができる。 【思考力、判断力、表現力】 ・実社会や実生活から課題を見つけ、解決に向けた計画を立て、情報を集め処理・選択し、まとめて表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の意志で目標を持ち、自他の良さを生かしながら協力し、実社会・実生活の課題解決に向けて進んで取り組もうとしている。	「海に親しむ」「海を知る」「海を活用する」「海を守る」 の4つの視点から学習活動を整理し取り組む		
			「海に親しむ」 ・西表横断 ・体験ダイビング ・様々な体験活動		
			「海を知る」 ・各教科による関連授業 ・海に生息する生き物に関する学習・講話 ・海の安全について学ぶ	「海を活用する」 ・各教科による関連授業 ・魚の料理を学ぶ ・ランプシェード作り	「海を守る」 ビーチクリーン 生徒会活動 ボランティア活動

指導方針	指導体制	評価計画
○学習内容によって学習形態を変える ○生徒の主体的・探究的な学習を推進する ○生徒同士の協働的な学びを重視する ○対話を中心とした個別指導の充実をはかる ○活動や発表の様子は記録に残す	○地域学習、表現力の育成では、全教師で指導にあたる ○合同での学習内容は海洋教育担当、各学年の取り組みはその学年担任・副担任が担当する ○海洋教育担当と企画委員会、各学年の担任・副担任の連絡調整を密にする ○保護者や地域人材、関係機関の積極的な活用を図る（十分な配慮を行うこと）	○ポートフォリオを活用した評価の充実 ○個人内評価の重視 ○指導と評価の一体化の充実

主に関連する教科等					
国 語	○目的や場面に応じ、自分の思いや考えを伝え合う ○調べたことや考えたことを筋道立てて述べる ○他者との関わりなどによって自分の考えを豊かにしたり、深めたりする	道 徳	○生命の尊重 ○個性や立場の尊重、謙虚、広い心 ○郷土愛、先人への尊敬と感謝 ○自主・自律、自由と責任	○人間愛、感謝と思いやり ○社会参画、公共の精神	
社 会	1 年社会〔地理〕 ・日本の姿（日本の領域） ・人々の生活と環境 ・世界の諸地域（ヨーロッパ州の自然環境） 2 年社会〔地理〕〔歴史〕 ・日本の地域的特色 ・日本の諸地域（近畿地方） ・近世（江戸時代の産業） 3 年社会〔公民〕 ・貧困解消と環境保全	家庭科	1 年〔食生活〕 ・持続可能な食生活を目指して ・生活の課題と実践 2 年〔衣生活・住生活・消費生活〕 ・持続可能な衣生活を目指して ・住まいと気候風土の関わり ・災害への対策（災害に備えてできること） ・持続可能な住生活を目指して ・省エネルギーと持続可能な社会 ・持続可能な消費生活を目指して 3 年〔家族・家庭と地域〕 ・地域での協働を目指して		
数 学	○資料の活用の仕方、考え方、表現方法（グラフ・統計） ○問題解決の過程を振り返り、評価・改善する	音 楽	○地域の音楽 歌詞から情景を考える		
英 語	○海の現状や学んだことを発信する ○自分の島（西表）について紹介する（島の海や川等の紹介含む）	美 術	○フォトフレーム作り ○ランプシェード作り		
		技 術	○水生生物を育てる技術を知ろう ○ICT 機器を活用してレポート作りや発表ツールを活用する		

